

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)

【公開番号】特開 2001-9120 (P2001-9120A)
 【公開日】平成 13 年 1 月 16 日 (2001.1.16)
 【出願番号】特願 平 11-189193
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 6 月 19 日 (2006.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の図柄を表示可能な図柄表示部を有する図柄表示器を備え、割込処理で実行される制御フローに基づいて、図柄変動信号の発生によって、前記図柄表示部に表示の図柄を変動させ、その後、所定時間後に確定図柄を表示する可変表示ゲームを行う遊技機であって、

前記可変表示ゲームにおいて、前記図柄表示器に複数の図柄と共に複数の図枠を表示し、前記複数の図柄を変動表示した後に前記図枠を移動表示して前記図柄の何れかを選定し、その図枠 (W) で選定された図柄の何れかを前記図柄表示部の図柄として確定することを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 0 4】

【課題を解決するための手段】

請求項 1 の遊技機は、複数の図柄を表示可能な図柄表示部を有する図柄表示器を備え、割込処理で実行される制御フローに基づいて、図柄変動信号の発生によって、前記図柄表示部に表示の図柄を変動させ、その後、所定時間後に確定図柄を表示する可変表示ゲームを行う。

そして、可変表示ゲームにおいて、先ず、図 6 に示すように、図柄表示器に複数の図柄と共に複数の図枠 (W) を表示する (図 6 (A))。そして、複数の図柄を変動表示した後に、前記図枠 (W) を移動表示して前記図柄の何れかを選定し (図 6 (B、C、D))、その図枠 (W) で選定された図柄の何れかを図柄表示部の図柄として確定する (図 6 (E))。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 3 3】

【発明の効果】

請求項１の遊技機は、可変表示ゲームを開始すると、図柄表示器には複数の図柄と複数の図枠が表示され、それらの複数の図柄が変動表示した後に図枠を移動表示して図柄の何れかを選定する。そして、それらの図柄の何れかが図柄表示部の図柄として選択されるので、予め、選択される図柄が表示されるので、推測できる面白味がある。